

教員資格及び教育内容等の自己評価書（令和6年度）

【自己評価1-1】専任教員の配置状況

YMCA米子医療福祉専門学校

学部・学科等の名称	専任教員数						基準数	うち理学療法士又は作業療法士数	助手	非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計							
理学療法学科						6人	6人	0人		92人	19人	
作業療法学科						6人	6人	0人		人	人	
計						12人	12人	0人		人	-	

【自己評価1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正でない。	1

【自己評価1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する職員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

※病院・施設以外に鳥取県総合事業支援員、障害支援区分認定審査委員、米子市認知症施策検討委員、鳥取県認知症予防プログラム教室講師、認知症初期集中支援チーム員、ろうあ者仲間サロン健康講座講師、鳥取刑務所への派遣員として地域実践を行っている。

【自己評価2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野（基礎・専門基礎・専門）	指定規則教育内容	相当授業科目名	担当コマ数	担当教員	
				氏名	職名（専任・兼任）
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	心理学	15	廣澤 あすか	兼任
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	人間関係論	8	宮田 知子	兼任
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	コミュニケーション論	8	宮田 知子	兼任
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	経済学	15	野田 哲夫	兼任
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	物理学	8	市川 修	兼任
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	生物学	15	石黒 尚子	兼任
				高田 美也子	兼任
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	生命科学	15	堀 直裕	兼任
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	情報処理学	15	野田 哲夫	兼任
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	統計学	15	野田 哲夫	兼任
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	ウェルネスⅠ	15	湊 英之	兼任
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	ウェルネスⅡ	15	湊 英之	兼任
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	医療英語	15	戸野 康恵	兼任
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	医療英会話	15	戸野 康恵	兼任
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	スタディスキルⅠ	15	岩崎 裕子	専任
			8	田住 秀之	専任
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	スタディスキルⅡ	15	岩崎 裕子	専任
			8	仲田 奈生	専任
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	キャリアデザイン	15	岩崎 裕子	専任
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	15	椋田 崇生	兼任
				濱崎 佐和子	兼任
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅱ	38	海藤 俊行	兼任
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学演習Ⅰ	30	大森 隆生	専任
				谷口 浩子	専任
				浜田 慶子	専任
			15	高梨 悠一	専任

専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学演習 II	8	海藤 俊行	兼任
				椋田 崇生	兼任
				濱崎 佐和子	兼任
				大森 隆生	専任
				仲田 奈生	専任
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	生理学 I	15	渡邊 達生	専任
				吉村 祐貴	兼任
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	生理学 II	15	松尾 聡	兼任
				井上 武	兼任
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	生理学実習	15	松尾 聡	兼任
				井上 武	兼任
				Ezomo Felix Ojeiru	兼任
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	機能解剖学	15	遠藤 正之	専任
			15	安井 和子	専任
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	神経生理学	15	石川 衛	兼任
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学	8	遠藤 正之	専任
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学	15	高梨 悠一	専任
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学実習	15	高梨 悠一	専任
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	人間発達学	15	成瀬 健次郎	兼任
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学概論	8	尾崎 充彦	兼任
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病態生理学	8	浜田 慶子	専任
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション医学	15	本村 啓	兼任
				山口 浩一	兼任
				仲田 奈生	専任
				荒木 大輔	兼任
				田邊 文子	兼任
				菊本 理恵	専任
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学	15	上山 潤一	兼任
				渡部 信之	兼任
				平野 文康	兼任
				高見 亜衣子	兼任
				田中 良明	兼任
				福本 菜摘	兼任
				門脇 佳名子	兼任
				深谷 健二	兼任
				木下 英人	兼任
				紙谷 悠	兼任
				木原 琢也	兼任
				山崎 章	兼任
				三宅 陽子	専任
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科学	15	尾崎 まり	兼任
				武田 知加子	兼任
				榎田 信平	兼任
				金谷 治尚	兼任
				三原 徳満	兼任
				石田 孝次	兼任

専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	神経内科学	15	守安 正太郎	兼任
				鈴木 有紀	兼任
				佐桑 真悠子	兼任
				徳田 直希	兼任
				竹内 裕彦	兼任
				種田 健太	兼任
				吉田 健太郎	兼任
				黒崎 雅道	兼任
				坂本 誠	兼任
				宇野 哲史	兼任
				中野 俊也	兼任
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	精神医学	15	小松 弘二	兼任
				朝倉 静林	兼任
				堀江 由美子	兼任
				澤田 郁	兼任
				井関 大勝	兼任
				広瀬 彩	兼任
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	小児科学	8	花木 啓一	兼任
				上山 潤一	兼任
				吉野 豪	兼任
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	医学検査法	15	足立 良行	兼任
				室田 博美	兼任
				山下 典子	兼任
				吉岡 明	兼任
				佐藤 研吾	兼任
				中西 和宏	兼任
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床心理学	15	廣澤 あすか	兼任
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	救急法	8	田中 信也	兼任
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	老年学	8	梅津 清司郎	兼任
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	薬理学	8	今村 武史	兼任
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	予防医学	8	浜田 慶子	専任
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	栄養学	8	堀越 洋輔	兼任
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション疾患学	15	浜田 慶子	専任
専門基礎分野	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	チームアプローチ論	8	谷口 浩子	専任
				田住 秀之	専任
				増田 孝之	専任
専門基礎分野	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	8	土中 伸樹	兼任
専門基礎分野	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	公衆衛生学	8	森田 明美	兼任
専門基礎分野	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	社会保障制度概論	15	浜村 修	兼任
専門基礎分野	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	地域リハビリテーション論	8	土中 伸樹	兼任
				石丸 知	兼任
				小松 雅来	兼任
専門分野	基礎理学療法学	理学療法学概論	15	岩崎 裕子	専任
専門分野	基礎理学療法学	理学療法学概論演習	8	浜田 慶子	専任
専門分野	基礎理学療法学	理学療法研究Ⅰ	8	大森 隆生	専任
専門分野	基礎理学療法学	理学療法研究Ⅱ	8	大森 隆生	専任
専門分野	基礎理学療法学	理学療法セミナーⅠ	30	岩崎 裕子	専任

専門分野	基礎理学療法学	理学療法セミナーⅡ	15	岩崎 裕子	専任
				遠藤 正之	専任
				大森 隆生	専任
				谷口 浩子	専任
				浜田 慶子	専任
				山崎 祐輔	専任
専門分野	理学療法管理学	理学療法管理学Ⅰ	15	岩崎 裕子	専任
専門分野	理学療法管理学	理学療法管理学Ⅱ	15	岩崎 裕子	専任
専門分野	理学療法評価学	理学療法評価学	15	大森 隆生	専任
				山崎 祐輔	専任
専門分野	理学療法評価学	理学療法評価学Ⅰ	15	山崎 祐輔	専任
専門分野	理学療法評価学	理学療法評価学Ⅱ	15	山崎 祐輔	専任
専門分野	理学療法評価学	中枢神経機能評価学	15	大森 隆生	専任
専門分野	理学療法評価学	内部機能評価学	15	浜田 慶子	専任
専門分野	理学療法評価学	臨床推論演習	15	岩崎 裕子	専任
専門分野	理学療法評価学	体表解剖学	15	大森 隆生	専任
専門分野	理学療法評価学	動作分析学	15	大森 隆生	専任
専門分野	理学療法評価学	画像評価学	8	大森 隆生	専任
専門分野	理学療法治療学	運動療法学基礎	15	遠藤 正之	専任
専門分野	理学療法治療学	運動療法学実習Ⅰ	15	遠藤 正之	専任
専門分野	理学療法治療学	運動療法学実習Ⅱ	15	遠藤 正之	専任
専門分野	理学療法治療学	日常生活活動学	15	谷口 浩子	専任
専門分野	理学療法治療学	日常生活活動学実習	15	谷口 浩子	専任
専門分野	理学療法治療学	義肢装具学Ⅰ	15	三谷 管雄	兼任
専門分野	理学療法治療学	義肢装具学Ⅱ	8	山崎 祐輔	専任
				倉鋪 章弘	兼任
				竹内 昌美	兼任
専門分野	理学療法治療学	物理療法学Ⅰ	15	浜田 慶子	専任
専門分野	理学療法治療学	物理療法学Ⅱ	15	浜田 慶子	専任
専門分野	理学療法治療学	運動器疾患理学療法学Ⅰ	15	三谷 管雄	兼任
専門分野				山崎 祐輔	専任
専門分野	理学療法治療学	運動器疾患理学療法学Ⅱ	24	遠藤 正之	専任
専門分野	理学療法治療学	運動器疾患理学療法学Ⅱ	24	大森 隆生	専任
				山崎 祐輔	専任
専門分野	理学療法治療学	神経障害理学療法学Ⅰ	15	大森 隆生	専任
専門分野	理学療法治療学	神経障害理学療法学Ⅱ	15	遠藤 正之	専任
専門分野	理学療法治療学	小児理学療法学	8	成瀬 健次郎	兼任
専門分野	理学療法治療学	循環器疾患理学療法学	15	曾田 武史	兼任
専門分野	理学療法治療学	呼吸器疾患理学療法学	15	浜田 慶子	専任
専門分野	理学療法治療学	代謝疾患理学療法学	15	遠藤 正之	専任
専門分野	理学療法治療学	疾患別理学療法演習	15	大森 隆生	専任
				浜田 慶子	専任
				山崎 祐輔	専任
専門分野	理学療法治療学	予防理学療法学	8	石丸 知	兼任
				炭山 慧一	兼任
専門分野	理学療法治療学	入浴・つ理学療法学	15	山崎 祐輔	専任
専門分野	理学療法治療学	理学療法技術論演習	15	今屋 健	兼任
				大丸 利沙	兼任
				小川 昌	兼任
				小谷 伊織	兼任

専門分野	理学療法治療学	理学療法特論	8	齋鹿 知美	兼任
				石丸 知	兼任
				小笹 智史	兼任
専門分野	理学療法治療学	クリニカルセミナーⅠ	30	岩崎 裕子	専任
				遠藤 正之	専任
				大森 隆生	専任
				谷口 浩子	専任
				浜田 慶子	専任
				山崎 祐輔	専任
専門分野	理学療法治療学	クリニカルセミナーⅡ	30	岩崎 裕子	専任
				遠藤 正之	専任
				大森 隆生	専任
				谷口 浩子	専任
				浜田 慶子	専任
				山崎 祐輔	専任
専門分野	理学療法治療学	クリニカルセミナーⅢ	24	岩崎 裕子	専任
				遠藤 正之	専任
				大森 隆生	専任
				谷口 浩子	専任
				浜田 慶子	専任
				山崎 祐輔	専任
専門分野	地域理学療法学	地域理学療法学	15	谷口 浩子	専任
				田中 優也	兼任
				田中 武志	兼任
				森本 宙	兼任
専門分野	地域理学療法学	地域理学療法学演習	8	谷口 浩子	専任
				石丸 知	兼任
				田口 陽子	兼任
専門分野	地域理学療法学	生活環境論	8	谷口 浩子	専任
専門分野	臨床実習	臨床見学実習	90	臨床実習施設指導者	兼任
				岩崎 裕子	専任
				遠藤 正之	専任
				大森 隆生	専任
				谷口 浩子	専任
				浜田 慶子	専任
				山崎 祐輔	専任
専門分野	臨床実習	地域理学療法実習	45	臨床実習施設指導者	兼任
				岩崎 裕子	専任
				遠藤 正之	専任
				大森 隆生	専任
				谷口 浩子	専任
				浜田 慶子	専任
				山崎 祐輔	専任
専門分野	臨床実習	臨床実習前評価	30	臨床実習施設指導者	兼任
				岩崎 裕子	専任
				遠藤 正之	専任
				大森 隆生	専任
				谷口 浩子	専任
				浜田 慶子	専任
				山崎 祐輔	専任

専門分野	臨床実習	臨床評価実習	180	臨床実習施設指導者	兼任
				岩崎 裕子	専任
				遠藤 正之	専任
				大森 隆生	専任
				谷口 浩子	専任
				浜田 慶子	専任
				山崎 祐輔	専任
専門分野	臨床実習	総合臨床実習Ⅰ	360	臨床実習施設指導者	兼任
				岩崎 裕子	専任
				遠藤 正之	専任
				大森 隆生	専任
				谷口 浩子	専任
				浜田 慶子	専任
				山崎 祐輔	専任
専門分野	臨床実習	総合臨床実習Ⅱ	360	臨床実習施設指導者	兼任
				岩崎 裕子	専任
				遠藤 正之	専任
				大森 隆生	専任
				谷口 浩子	専任
				浜田 慶子	専任
				山崎 祐輔	専任
専門分野	臨床実習	臨床実習後評価	15	臨床実習施設指導者	兼任
				岩崎 裕子	専任
				遠藤 正之	専任
				大森 隆生	専任
				谷口 浩子	専任
				浜田 慶子	専任
				山崎 祐輔	専任
専門分野	基礎作業療法学	作業療法概論Ⅰ	15	田住 秀之	専任
専門分野	基礎作業療法学	作業療法概論Ⅱ	15	田住 秀之	専任
専門分野	基礎作業療法学	基礎作業学	15	菊本 理恵	専任
専門分野	基礎作業療法学	基礎作業学実習Ⅰ（1年次）	8	安藤 青磁	兼任
専門分野	基礎作業療法学	基礎作業学実習Ⅰ（1年次）	8	佛坂 香奈子	兼任
専門分野	基礎作業療法学	基礎作業学実習Ⅰ（1年次）	2	本池 秀夫	兼任
専門分野	基礎作業療法学	基礎作業学実習Ⅰ（1年次）	2	菊本 理恵	専任
専門分野	基礎作業療法学	基礎作業学実習Ⅰ（1年次）	2	田住 秀之	専任
専門分野	基礎作業療法学	基礎作業学実習Ⅱ	8	宇田川 英二	兼任
専門分野	基礎作業療法学	基礎作業学実習Ⅱ	8	桑原 正	兼任
専門分野	基礎作業療法学	基礎作業学実習Ⅱ	4	田住 秀之	専任
専門分野	基礎作業療法学	基礎作業学実習Ⅱ	4	菊本 理恵	専任
専門分野	基礎作業療法学	作業療法学研究法	23	高梨 悠一	専任
専門分野	基礎作業療法学	作業療法総合演習	23	仲田 奈生	専任
専門分野	基礎作業療法学	作業療法総合演習	6	高梨 悠一	専任
専門分野	作業療法管理学	作業療法管理学	4	田住 秀之	専任
専門分野	作業療法管理学	作業療法管理学	2	原田 伸吾	兼任
専門分野	作業療法管理学	作業療法管理学	2	小山 雅之	兼任
専門分野	作業療法管理学	職場管理学	8	岩崎 裕子	専任
専門分野	作業療法評価学	作業療法評価学概論	15	安井 和子	専任
専門分野	作業療法評価学	作業療法評価学演習Ⅰ	8	仲田 奈生	専任
専門分野	作業療法評価学	作業療法評価学演習Ⅰ	8	安井 和子	専任

専門分野	作業療法評価学	作業療法評価学演習Ⅱ	8	高梨 悠一	専任
専門分野	作業療法評価学	作業療法評価学演習Ⅱ	8	安井 和子	専任
専門分野	作業療法評価学	A D L 関連評価学	12	安井 和子	専任
専門分野	作業療法評価学	A D L 関連評価学	12	菊本 理恵	専任
専門分野	作業療法治療学	身体障害作業療法総論	8	安井 和子	専任
専門分野	作業療法治療学	内部障害の作業療法	8	安井 和子	専任
専門分野	作業療法治療学	運動器疾患の作業療法Ⅰ	15	高梨 悠一	専任
専門分野	作業療法治療学	運動器疾患の作業療法Ⅱ	15	高梨 悠一	専任
専門分野	作業療法治療学	脳血管障害の作業療法Ⅰ	15	安井 和子	専任
専門分野	作業療法治療学	脳血管障害の作業療法Ⅱ	15	仲田 奈生	専任
専門分野	作業療法治療学	高次脳機能障害の作業療法	15	仲田 奈生	専任
専門分野	作業療法治療学	変性疾患の作業療法	15	安井 和子	専任
専門分野	作業療法治療学	老年期障害の作業療法	15	菊本 理恵	専任
専門分野	作業療法治療学	老年期障害作業療法演習	15	菊本 理恵	専任
専門分野	作業療法治療学	こどもの作業療法総論	15	来間 寿史	兼任
専門分野	作業療法治療学	こどもの作業療法Ⅰ	11	来間 寿史	兼任
専門分野	作業療法治療学	こどもの作業療法Ⅰ	4	濱本 浩二	兼任
専門分野	作業療法治療学	こどもの作業療法Ⅱ	7	来間 寿史	兼任
専門分野	作業療法治療学	こどもの作業療法Ⅱ	8	引野 里絵	兼任
専門分野	作業療法治療学	精神障害の作業療法Ⅰ	15	田住 秀之	専任
専門分野	作業療法治療学	精神障害の作業療法Ⅰ 演習	15	田住 秀之	専任
専門分野	作業療法治療学	精神障害の作業療法Ⅱ	15	田住 秀之	専任
専門分野	作業療法治療学	精神障害の作業療法Ⅱ 演習	15	田住 秀之	専任
専門分野	作業療法治療学	A D L 技術論	8	安井 和子	専任
専門分野	作業療法治療学	A D L 技術論	8	仲田 奈生	専任
専門分野	作業療法治療学	クリニカルスキルⅠ	23	高梨 悠一	専任
専門分野	作業療法治療学	クリニカルスキルⅡ	8	仲田 奈生	専任
専門分野	作業療法治療学	クリニカルスキルⅢ	23	安井 和子	専任
専門分野	地域作業療法学	地域社会学	8	菊本 理恵	専任
専門分野	地域作業療法学	地域作業療法学	8	菊本 理恵	専任
専門分野	地域作業療法学	地域作業療法学演習	15	菊本 理恵	専任
専門分野	地域作業療法学	地域生活マネジメント演習	8	菊本 理恵	専任
専門分野	地域作業療法学	地域生活マネジメント演習	7	仲田 奈生	専任
専門分野	臨床実習	臨床見学実習	90 (時間)	田住 秀之	専任
				安井 和子	専任
				高梨 悠一	専任
				菊本 理恵	専任
				仲田 奈生	専任
				櫻井 直人	専任
専門分野	臨床実習	臨床推論実習	270 (時間)	田住 秀之	専任
				安井 和子	専任
				高梨 悠一	専任
				菊本 理恵	専任
				仲田 奈生	専任
				櫻井 直人	専任
専門分野	臨床実習	総合臨床実習Ⅰ	405 (時間)	田住 秀之	専任
				安井 和子	専任
				高梨 悠一	専任
				菊本 理恵	専任
				仲田 奈生	専任
				櫻井 直人	専任

専門分野	臨床実習	総合臨床実習 II	405 (時間)	田住 秀之	専任
				安井 和子	専任
				高梨 悠一	専任
				菊本 理恵	専任
				仲田 奈生	専任
				櫻井 直人	専任
専門分野	臨床実習	地域作業療法実習	45 (時間)	田住 秀之	専任
				安井 和子	専任
				高梨 悠一	専任
				菊本 理恵	専任
				仲田 奈生	専任
				櫻井 直人	専任

【自己評価 2 - 2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2 - 3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3 - 1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をしている。	4
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむねしている。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3 - 2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

理学療法学科

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
臨床見学実習	2年生後期	理学療法概論演習	1年生後期
		解剖学Ⅰ、Ⅱ	1年生前期
		理学療法評価学	1年生前期・後期
		心理学	1年生前期
		人間関係論	1年生前期
		コミュニケーション論	1年生前期
		病態生理学	2年生前期
		内科学	2年生前期
		整形外科学	2年生前期
		神経内科学	2年生後期
		精神医学	2年生前期
		小児科学	2年生前期
		リハビリテーション疾患学	2年生後期
		運動療法基礎	1年生後期
		運動療法実習Ⅰ	2年生前期
		運動器疾患理学療法Ⅰ	2年生後期
		義肢装具学Ⅰ、Ⅱ	2年生前期・後期
物理療法Ⅰ、Ⅱ	2年生前期・後期		
日常生活活動学	2年生前期		
日常生活活動学実習	2年生後期		
地域理学療法実習	3年生前期	地域理学療法学	3年前期
		生活環境論	3年前期
		地域リハビリテーション論	3年前期

臨床評価実習	3年生後期	リハビリテーション医学	3年前期・後期
		医学検査法	3年前期
		疾患別理学療法演習	3年後期
		予防医学	3年後期
		栄養学	3年後期
		運動器疾患理学療法学Ⅱ	3年前期・後期
		神経障害理学療法学Ⅰ、Ⅱ	3年前期・後期
		小児理学療法学	3年後期
		循環器疾患理学療法学	3年後期
		呼吸器疾患理学療法学	3年前期
		代謝疾患理学療法学	3年前期・後期
		スポーツ理学療法学	3年前期
		臨床推論演習	3年前期
		臨床実習前評価	3年後期
総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ	4年生前期	上記と同じ	上記と同じ

作業療法学科

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
施設見学	1年生前期	作業療法学概論	1年生前期
		クリニカルスキルⅠ	1年生前期
		解剖学Ⅰ、Ⅱ	1年生前期
臨床見学実習	2年生後期	心理学	1年生前期
		人間関係論	1年生前期
		コミュニケーション論	1年生前期
		病態生理学	2年生前期
		内科学	2年生前期
		整形外科	2年生前期
		神経内科学	2年生後期
		精神医学	2年生前期
		小児科学	2年生前期
		基礎作業学	2年生前期
		作業療法評価学演習Ⅰ	2年生前期
		作業療法評価学演習Ⅱ	2年生後期
		運動器疾患の作業療法Ⅰ	2年生後期
		子どもの作業療法総論	2年生後期
		精神障害の作業療法Ⅰ	2年生前期
		精神障害の作業療法Ⅰ演習	2年生後期
		クリニカルスキルⅡ	2年生後期
地域社会学	2年生前期		
ADL技術論	2年生後期		
臨床推論実習	3年生後期	リハビリテーション医学	3年生前期・後期
		医学検査法	3年生前期
		老年学	3年生前期
		予防医学	3年後期
		栄養学	3年生後期
		内部障害の作業療法	3年生前期
		運動器疾患の作業療法Ⅱ	3年生後期
		脳血管障害の作業療法Ⅰ・Ⅱ	3年生前期・後期
		高次脳機能障害の作業療法	3年生前期
		変性疾患の作業療法	3年生前期
		老年期障害の作業療法	3年生前期
		こどもの作業療法Ⅰ・Ⅱ	3年生前期・後期
		精神障害の作業療法Ⅱ・演習	3年生前期・後期
		クリニカルスキルⅢ	3年生前期・後期
		地域作業療法学	3年生前期
地域作業療法学演習	3年生後期		
地域生活マネジメント演習	3年生前期・後期		
総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ	4年生前期	上記と同じ	上記と同じ
地域作業療法学実習	4年生前期・後期	上記と同じ	上記と同じ

【自己評価 3 - 3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3 - 4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制を記入してください。

自己点検・評価組織名	リハビリテーション教育評価機構、学校運営会議
委員名（委員長）	渡邊 達生（校長）
組織の開催頻度	年1回
組織の取り組み内容	・自己点検・自己評価の実施
	・自己点検・自己評価報告書の作成
	・自己点検・自己評価結果の公表
	・リハビリテーション教育評価機構による教育評価の実施
自己点検・評価結果の公表	H P で公表(URL : )

【自己評価4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する仕組み	名称	YMCA米子医療福祉専門学校教務委員会
	委員構成等	岩崎 裕子（委員長）、渡邊 達生、山崎 祐輔、安井 和子、矢野 正博
	改善の仕組みの実際	毎月2回委員会を開催し、教務に関する検討を実施している。

【自己評価4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

資格取得率向上のための取り組み
1. 臨床実習の質の向上による実践力強化 臨床実習指導者との連携を密にし、実習目標の明確化および振り返り指導の充実を図るとともに、実習前後に客観的能力試験を実施し、学生の到達度や課題を可視化している。さらに、実習前ガイダンスや実習後セミナーを通じてリハビリテーションに必要な思考過程を習得させ、実習で求められる実践力ならびに、国家試験に直結する専門知識と臨床判断能力の向上を図っている。
2. 体系的なキャリア教育の実施による学習意欲の向上 入学初年次に講義科目としてキャリアデザインを導入し、在学期間を通した段階的なキャリア教育を実施することで、資格取得の意義や将来像の明確化を図っている。さらに、臨床実習とは別に実施する教育活動として、小学生から高校生を対象としたフィジカルサポート活動、鳥取大学医学部と連携した地域医療連携研修、認知症予防やフレイル予防に関する地域支援活動への学生参加の機会を設けている。これらの活動を通して、理学療法士・作業療法士の多様な役割や社会的責任への理解を深め、早期からの職業観形成を促している。こうした学内外での取り組みを通じて、学修への主体性を高めるとともに、学内での学びや国家資格取得に向けた意欲の向上を図っている。
3. 多学年合同学習による学修支援体制の強化 上級生と下級生が共に学ぶ合同学習やピアサポートを取り入れ、知識・技能の定着を図っている。加えて、1・2年次から学習アプリや業者模擬試験を活用した基礎学力の定着を行うとともに、教員による学生への定期的な個別面談および保護者面談を実施し、学習面の進捗状況や生活面の課題について継続的なフォローを行っている。これらの多層的な支援を通じて、学習習慣の形成と相互支援を促進し、資格取得率の向上を目指している。
4. 計画的かつ個別対応を重視した国家試験対策の充実 模擬試験の活用および結果に基づく弱点分析を行い、補習指導や個別学習支援を通して、学生一人ひとりの到達度に応じた国家試験対策を実施している。さらに、外部講師による国家試験対策講義ならびに内部教員による計画的な対策講義を実施するとともに、国家試験対策アプリを活用した日常的な学習支援を行い、知識の定着と応用力の向上を図っている。これらの取り組みにより、国家試験合格に向けた総合的な学修支援体制の充実を図っている。